



京都きょうだい会だより

第163号 2013.7.13

発行 京都「障害者」を持つ兄弟姉妹の会上本善有（代表）

事務局 京都市伏見区石田大山町52-67 梅田嘉一方 TEL&FAX 075-571-1973

50周年全国総会の報告

～自分自身の50年をふりかえりながら～

糸井 慶一

今年是全国にきょうだい会が誕生して50周年を迎える記念すべき年で、総会が4月28日(日)29日(祝)に東京のお台場でありました。参加者は全国から延べにして90名を超え、大層盛り上がりました。以下、自分の50年も思い起こしながら、報告をさせていただくことにします。

最初のプログラムは交流を深める為、ツアーから始まります。私は例年あまり時間が取れず、これまで夜の交流会からしか参加できなかったのですが、今年は初めて最初の隅田川昇りのツアーから参加しました。初対面の人にも勇気を出して声掛けを試みてみました。昔の自分なら考えられないことです。またテレビ番組「プラタモリ」をよく見ていたので、隅田川を船で上るツアーはとても楽しみでした。話題のスカイツリーも川から堪能しました。

船からの風景を楽しみながら、自分自身の50年も合わせてふりかえっていました。私の50年前はというと中学2年生。悩める青春の真っただ中でした。3人きょうだいの一番上で、4歳と6歳下に小頭症で最重度知的障害の妹がいました。誰にも打ち明けることの出来ないきょうだいや自分のことを、一人頭の中でぐるぐる考えて答えの見つからない日々でした。その頃はこのような会があることをしりませんでした。自分のような境遇の者は「世界でただ一人」だと思っていましたから、就職や未来の結婚のことを思うと答えが見つからず、悶々とした日々でした。会の存在を知ったのは、それから10年後のこと。思えば随分回り道をしたものです。

さて、1日目夜の交流会でびっくりしたのは、70代のOBの方々の参加が多かったことです。御きょうだい同伴の方や、会員同士で結婚されたご夫婦も来ておられました。50年前、「きょうだい会が青春だった」とい

うお話で盛り上がり、圧倒されました。そして今もこうしてつながっておられるということを拝見し、嬉しくなりました。まさに「きょうだいは一生」なのですね。私も70代になっても、若々しい笑顔できょうだいの方々と交流出来たらと思いました。もちろん若き頼もしききょうだいの方も大勢おられ、世代のつながりが出来ることに、会の意義の大きさを改めて感じました。

そして2日目の午前中持たれた総会や交流会も中身濃いものでした。総会で特に印象に残っているのは、親の研修会に講師として出席された愛知県の山岸さんの報告と問題提議です。「親は『きょうだいが面倒を見るのが当たり前』と思っている。両親もそう思っている。しかしそうだろうか？おかしいのではないか？おかしいと思ったことは会としてきちり発信して行くことが重要だ。」という発言でした。まさにきょうだい会の原点に触れる問題提議です。それぞれの家庭で違いはあると思いますが、親・きょうだいも含めた家族が過大過ぎる負担を負わないで済む社会作りに向けて発信が必要でしょうね。きょうだいが体験に基づき気がついたことを、いかに発信して行けるかが問われていると思います。総会後の交流会では、小グループに分かれて①結婚②就職③親亡き後④本人とのつき合い方⑤自分が今悩んでいることをテーマに話し合いました。話の切り口は違って、きょうだいとして体験し、今思っていることを傾聴し合うことが目的であり、良い交流が出来たと思います。

午後の記念パーティーは来賓を含め90人ほどの参加者があり、各地のきょうだい会活動を紹介するスライドショーやゲームが盛り込まれ、楽しく熱気のある雰囲気の中に時間が過ぎて行きました。マイクを回された人のコメントには、きょうだいの今向き合っている話題が触れられ、共感することが多くありました。

人は自分に無いものを持っています。一人での発信には限りがあります。今後もそれぞれが会の中での役割を発見し、会を豊かにして、自分の目を開かせ、また社会に向かって発信が出来るようにして行きたいものです。

例会は、奇数月の第二土曜に喫茶みどり（京阪深草駅西口すぐ）の奥の会議室でやっています。たまに変更することもありますので、はじめて来られる方や久しぶりの方は事務局まで連絡下さい。京都きょうだい会にホームページが出来ました。<http://kyoto-kyodai.jimdo.com/> をご覧下さい。

事務局(梅田方)に電話とFAXがあります。連絡や通信に利用して下さい。
たよりの原稿は 宇治市羽戸山3丁目1-76 (TEL&FAXとも0774-31-4337) 糸井まで

でてこいランド交流会2013

9/14(土)PM5:00 ~ 9/15(日) 昼まで

く京都きょうだい会結成30周年記念
&全国きょうだいの会結成50周年記念

でてこいランドとは京都府の真ん中にある宿泊施設の名前で
す。毎年、自然に囲まれた中で、きょうだいの思いを本音で語り
合おうと1泊交流会をしています。貸し切りの「山荘」なので、
途中からの参加でも自由！例年全国から2~30人の参加があ
ります。京都旅行も兼ねていらっしやいませんか？

世話人もゆっくり時間を過ごせるよう、夕食の準備はあえてし
ておりませんので(笑)、各自で夕食のお弁当などはご用意下さい。
お酒、おつまみの持ち込みは大歓迎です。お風呂は広くゆったり
入っていただけます。心の底にしまった思いを外に出しましょ
う！また無理に話せなくても聞き役に回ってもいいのです。「き
ょうだい」としての原点を見つけませんか。

☆場所：でてこいランド(建物の名前です)

京都府船井郡丹波町下山土淵61-7

電話 0771-83-1180

☆参加費：4千円(一泊朝食付き)。簡単な朝食は用意していま
す。なお、今年は50周年事業のひとつに位置づけて
行います。遠方の方が少しでも参加しやすいよう、交
通費の補助(補助率は未定ですが)が本部から出る予
定なので、ふるってご参加ください。

☆連絡先：梅田090-1917-4770 糸井090-6203-9123

☆でてこいランドへのアクセス

電車の場合 JR山陰線下山駅下車 駅から電話頂ければ車で
迎えに行きます。*京都駅32番ホームから福知山方面行き電
車で園部駅で乗り換え。京都駅15:7発なら16:15着、
16:7発なら17:15着です。

車の場合 縦貫道終点丹波インターでおり、国道9号から27号へ。
27号線に入り下山駅への表示に注意を。なお、高速で来られる方は名
神・京滋バイパスの大山崎インターから沓掛インターまで開通しまし
たので、縦貫道に入るのが便利になりました。

事務局長梅田さんから・・・

「全国きょうだいの会結成50周年記念総会
&パーティー」に行ってきました。京阪神から
は6名が参加、内5名は28日の浅草ツアーから
の参加でした。記念パーティーは90名前後
の参加でしょうか、すごくなごやかで、かつ熱
気にあふれた集まりでした。1番印象的だった
のは、結成時のメンバーが「OB」会として、
歴代会長を含め10名以上参加されていた事
です。

僕らにとって「きょうだいとしての長男、長
女」が健在なのは非常にたのしく思えます。

両日とも、写真のみならずビデオ撮影もあつ
たので、いい記録として残ると思いますので楽
しみです。この勢いを9月の「でてこいランド
交流会2013」につなぐ事が出来たらと思っ
ています。



会費は正会員・購読会員とも年間3,000円です。カンパはいくらでもありがたいです。会を支えて
下さい。 京都銀行鞍馬口支店 口座番号 3797399 京都「障害者」を持つ兄弟姉妹の会まで。